

市長と語る会(三田住民自治協)

平成27年8月11日(火)午後7時30分～午後9時
三田地区市民センター

項目	市民の皆さんからいただいた主な意見等	その際の回答要旨
都市計画区域について	<p>上野市時代に線引きで市街化区域に編入されたが、設定時から良くなったと思うものがない。早く線引きの問題を解決してほしい。 また、2年前より水害に悩まされている。</p> <p>都市計画区域線引きの時には、市街化区域に編入されることで公共下水道の整備が行われるとの期待があったため編入に賛成した。現在も公共下水への期待はあるが、無理であれば合併浄化槽の補助を以前のように大きな割合にしてほしい。農業集落排水事業を進めている地域があるが、費用対効果を考えると、無駄が多いと思う。</p>	<p>市街化区域の編入については、地域の意見を集約したうえで編入されています。しかし、市としての施策が不十分であったかもしれません。今後の土地利用を考える中で、そのまま線引きを外してしまうのではなく、三田地域をどうするのかについて合意形成を図りたい。現在考えているのは条例により、地域の皆さんの合意のもと土地利用を制限する方法で、現在より融通の利く方法です。 水害については、堤防の設置や改修を行っています。内水被害については、排水ポンプや大型ポンプ車の導入で以前より安全性は高まっています。今後においては出来る限り固定ポンプだけで内水被害を抑えるよう考えています。また、今後も継続的に関係機関へ働きかけは続けていきます。</p> <p>公共下水道事業について、上野地区全てをカバーするとすれば予算額が相当なものとなる。そのため、小さく区割りをして地域の事情に合致した下水道事業であるコミュニティプラントを現在検討中である。また、合併浄化槽については、地域の普及率によって公共下水道や農業集落排水などの必要性について、地域の聴き取り調査を実施している。今後地域としっかりと話をし、必要な地域には必要な成果が上がっていくよう進めていきたい。</p>
下水道について	<p>市負担で浄化槽用の下水道管が埋設されているのは、野間地区だけである。地域でその負担もしている。埋設管の改修となればその負担も大きい。</p>	<p>市負担の排水路については、地域の合意形成が出来たうえで、合併浄化槽の水を排水しています。地域と下水道課との話で負担してもらうところはしていただくこととなっています。補助金については県補助の額の減少に伴って少なくなっている。伊賀市の合併浄化槽の新規導入は年間100件ほどで、市としては現状の中で出来るだけの補助をしています。</p>
三田地域について	<p>三田にはJR伊賀上野駅があり、町として形成されている。市として北の玄関口に当たるこの地域をどう考えているのか。全く手入れがされていないのではないのか。 少子高齢化が進んでいるがどのように活性化していくのか。</p>	<p>人口の社会減をいかに防ぐのかについて、地域に若い人を呼び込むことが大事です。そのためには働く場所、安心して生活できる場所が必要です。当地区にはエクセディが大きな設備投資を今後進めてもらうこととなっています。また、ゆめが丘の工業団地も全て埋まっていますので、今後も引き続き企業誘致を進めていきます。また、各地域にある空家の活用により生活する場を確保する必要もあります。伊賀鉄道は伊賀上野から伊賀神戸までが伊賀鉄道線であり、伊賀上野駅でJRと繋がります。引き続きJR戦の電化やハイブリット車両の導入などについて訴えていきます。</p>

<p>地域の活力について</p>	<p>市長はなぜ上野から大阪まで通われていたのですか。伊賀市は多少時間はかかるが、大阪、京都、名古屋へのアクセスが便利な場所であると思う。都会部からもっと若い人を呼び込むことが必要であると思う。また、地域のことは、もっと地域住民の力を活用すればいいのではないかと。</p>	<p>利便性だけで考えると都市部のほうが便利ですが、伊賀で育った者として自然豊かな伊賀市が好きで、大阪は仕事場で、伊賀は生活の場と考えていました。関西線の利便性がもっと向上すれば通勤圏も広がると思います。また、道路交通で考えれば大変便利なところでもあります。</p> <p>行政は調整機能を発揮するだけで、地域のことは地域で行うまち協や自治協などの活用で町づくりを進める必要があります。自治センター化について地域の状況はいろいろなので、それぞれの地域に応じた対応をしていきたい。そのサポートをしていくのが行政の役割であると考えています。</p> <p>また、女性の活躍できる場が重要であり、男女共同参画をより進めていく必要があります。</p>
<p>多文化共生について</p>	<p>市内の企業などで働いて、住まいする外国人が大勢いますが、自治会に入ることはなく、地域とのつながりが少ない。また、ゴミ出しルールなども知らずに出されていることがある。生活上のルールなどについて、勤務先からも説明など行っていただくのも一つの方法ではないかと。</p>	<p>伊賀市には4100人の外国人が生活されています。転入時にはオリエンテーションで伊賀市の祭りやゴミ出しルールや自治会の制度も説明しています。自治会費が必要であったり、公共のためとの考え方に理解をしてもらえないこともあります。しかし、多文化共生という言葉もありますが、文化や言葉の違いを理解し、しっかり語り合うことで、理解し合えると思います。</p>
<p>小学校について</p>	<p>三訪小学校の児童数について現在複式学級はないが、今後において児童数が少なくなるが、このままでもお願いしたい。</p>	<p>現在は加配をして教員数を増やしています。しばらくの間は大丈夫との話を聞いています。</p>
<p>空家問題について</p>	<p>市営住宅の空き家問題や市有地の車の放置などの問題を解決してほしい。空き家や空き地の管理について、行政として手立てをして欲しい。地域環境の悪化となっている。</p>	<p>市営住宅の管理については、市が行うものです。老朽化に伴い改修、解体などの再編を検討しています。住宅管理に関するルールを改めて周知していきます。</p>